



## 片山総務大臣が YRPをご視察

片山総務大臣が、平成13年9月28日(金)に、YRPをご視察された。横須賀市 沢田市長、通信総合研究所 飯田理事長、YRP推進協会 会長等からYRP及び通信総合研究所の概要説明が行われた後、YRP1番館の通信総合研究所における研究状況、電波暗室、YRPホール、YRP地区内の各研究施設、NTTドコモR&Dセンター、NTT横須賀研究開発センターをご視察された。





景山総務大臣政務官のスピーチ



# 国際交流



YRPブース

## 第4回国際移動通信シンポジウム W P M C '01 デンマーク国・オールボー市で 開催される

第4回国際移動通信シンポジウム(W P M C '01)が、去る9月9日から12日まで、デンマーク国オールボー市において約30か国から400名を越す多数の参加を得て成功裏に実施された。我国からは、研究者や技術者に加えて、Y R P推進協会及びY R P研究開発協議会による訪問団が派遣されるなど、総勢で100名規模の参加になった。

W P M C会議は、国際的な産学官連携促進のため、横須賀リサーチパーク研究開発協議会と独立行政法人通信総合研究所(C R L)が共催で毎年実施している催しである。今回は、1998年のY R P、1999年のオランダ国アムステルダム市、2000年のタイ国バンコク市での開催に続き、第4回目であった。

9月10日の開会式は、デンマーク国アレクサンドラ王女ご臨席の下、Y R P研究開発協議会の羽鳥会長及びC R Lの飯田理事長より主催者挨拶のあと、景山総務大臣政務官、デンマーク国情報技術研究省のWang部長よりご来賓の挨拶をいただき盛大に行われた。

会議では、基調講演6件、技術発表177件、ポスター発表92件、パネル6セッション、チュートリアル10セッションが行われ、無線通信に関する最新の技術成果の交流が活発に行われた。総務省 鬼頭電波部長が「日

本における将来の移動通信システム」の演題で、新世代モバイルシステム実現へ向けた我国の取り組み状況を講演されたことに対し参加者は強い関心を示した。

今回のW P M C '01開催に当たっては、総務省、デンマーク大使館を始め開催地のオールボー大学(W P M C '01 組織委員長 ブラサド教授、同論文委員長 アンダーセン教授)、NOVIサイエンスパーク(Y R Pと2001年1月に研究交流覚書締結)オールボー市などから多大のご尽力をいただいた。

次回W P M C '02は、2002年10月27-30日の間、米国ホノルル市で、2003年には横須賀市で開催の予定になっている。





アレクサンドラ王女



オープンセレモニー



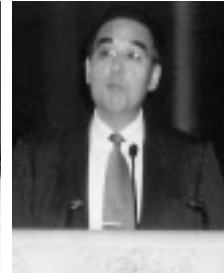
ブラサド教授



羽鳥会長



飯田理事長



鬼頭電波部長



優秀論文の表彰

## ビジネス交流事業

WPMC '01の開催に合わせ、IT分野におけるデンマークと日本企業のビジネスマッチングを行った。NOVIサイエンスパークとYRPとの研究交流覚書の事業として、またJETRO横浜の事業として横須賀・YRPと北ユントラント県・NOVIとのLocal to Local事業として行ったものである。本年6月に東京とYRPにおいて開催したイベントとの組み合わせにより、日本及びデンマーク企業のビジネス交流に寄与した。



NOVIサイエンスパーク訪問



ビジネス交流セミナー

# 欧州サイエンスパーク訪問と今後のMOU展開

NOVI



NOVI

## が連携するサイエンスパーク

名称	進出企業数	特徴
プレストサイエンスパーク (フランス)	約120社	約15のサイエンスパークが集積するウエストアトランティックサイエンスパークの1つ。無線・IT・Sなどの開発拠点
ソフィアアンティポリス (フランス)	1000社超	フランス・テレコムなどが進出。医療・バイオ・情報通信などの開発拠点
オウルサイエンスパーク (フィンランド)	約100社	電子工学・バイオ・情報通信の開発拠点。ノキアの研究所がある
タイサイエンスパーク (タイ)		タイの国家科学技術開発庁が移転。国内外の民間企業のR & Dを誘致し、2002年開設予定

## サイエンスパークとの連携活動

WPMC '01の開催に併せて、羽鳥会長、麩会長を中心としたデレゲーションがフィンランド・オウルサイエンスパーク、フランス・ソフィアアンティポリス及びウエストアトランティック、並びにイギリス・アダストラパークを訪問し、相互のアクティビティに関する相互理解を深めた。また、推進協会メンバーを中心に構成したデレゲーションがITU本部も訪問し、国際的な通信の枠組等に関する理解も深めた。

NOVI、OuluとはWPMC開催時にYRPとのトライアングルMOU（研究交流連携覚書）の締結について打ち合せを行った。ソフィア

アンティポリス、ウエストアトランティック、プレストサイエンスパーク、レンヌサイエンスパークとはMOUの締結について打ち合せを行った。その結果、今後の予定は別表（次ページ「MOU締結関連VIP来訪予定表」参照）の通りとなった。

プレストテクノポール（フランス）にてプレスト市長（写真中央）



NOVI



プレストテクノポール訪問（フランス）



## 訪問したサイエンスパーク

## 1. オウル

- ・フィンランド有数のIT・バイオ・製薬等の研究開発拠点の世界的成功例として認知されている。
- ・ノキアの大きな研究所がアクティビティを高めることに貢献している。



オウル

## 2. アダストラルパーク

- ・BTの巨大な研究所を中心として、その研究成果を核にアクティビティを高めており、アダストラルパークとしてのステータスにプライドを持っている。「我々は、4つ星のサイエンスパークと連携する。」というコメントが非常に印象的であった。



アダストラルパーク

## 3. ソフィアアンティポリス

- ・面積がYRPの18倍に及んでおり、産学が活発に連携している。また、ETS I本部の誘致にも成功しており、それによりサイエンスパークとしてのアクティビティも更に向上している。



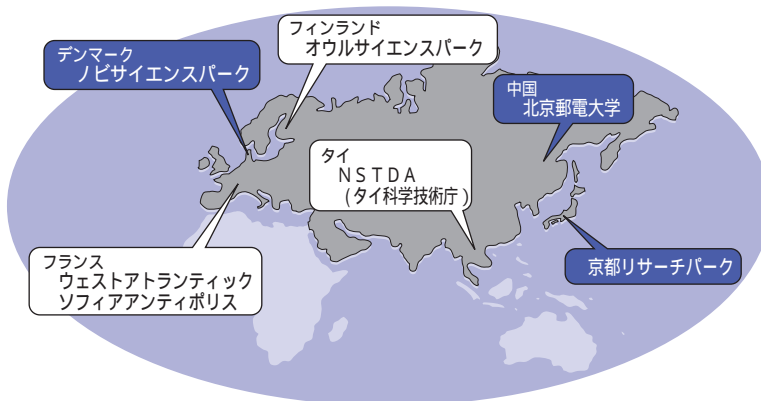
ウエストアトランティック

## 4. ウエストアトランティック

- ・プレスト、レンヌ、リニオンなどITを中心テーマとする15程度のサイエンスパークが連携しており、いずれもスケールが大きく活動が活発である。

## 5. ETS I 訪問

総務省関東総合通信局において、開催中のワイヤレステストベッド調査の一環として、ETS I に対してインターワーキングの取組み状況に関する調査を行った。調査申し入れは、デンマーク大使館とMOU締結予定のコートダジュール経済開発局からも要請していただき、有意義なヒアリングを行えた。また今後の追加調査等のコンタクトパーソンを得た。改めて研究交流としての草の根活動の意義を感じた。

YRPのMOU締結 及び  
締結予定サイエンスパーク

- MOU締結済みサイエンスパーク
- MOU締結予定のサイエンスパーク

## 平成13年度 MOU締結関連VIP来訪予定表

日程	国名	団体名	来訪者	来訪目的
平成13年 10月11～12日	デンマーク フィンランド	ノビサイエンスパーク オウルサイエンスパーク	オルボー大学 / アンダーセン教授・ブラサド教授 オウル大学 / レッパネン教授・ラトバアホ教授 オウルテクノポリス / ラウノネン局長	
10月31日	フランス	ウエストアトランティック	ウエストアトランティック / ドロウイン会長 (経団連副会長兼務)	
11月5日	フランス	プレストサイエンスパーク	テクノポールプレスト・イロワーゼ / ラベイ会長 (プレスト市助役)	MOU調印
11月11～15日	タイ	タイサイエンスパーク	タイ科学技術庁 / バイラート長官	MOU調印
11月29日	フランス	ソフィアアンティポリス	コートダジュール経済開発局 / マスカレリ理事長	MOU調印
12月	フィンランド デンマーク	オウルサイエンスパーク ノビサイエンスパーク	来訪者未定 (テレビ会議で対応)	MOU調印
平成14年1月	フランス	西フランスワイヤレスアソシエーション、 ウエストアトランティック、MEITO	来訪者未定	MOU調印

# YRPでITS、ミリ波のワークショップ

## 第2回 ITS情報通信国際ワークショップ (ITST2001) の開催

第2回ITS情報通信国際ワークショップ (ITST2001) は、通信総合研究所 (CRL) 通信・放送機構 (TAO) 横須賀リサーチパーク (YRP) 研究開発協議会の主催と、電子情報通信学会高度交通システム研究会、情報処理学会、IEEE COMSOC Japan Chapter の協賛により、10月25日、26日の両日YRPで開催された。

東京大学今井教授、YRP研究開発協議会羽鳥会長、CRL飯田理事長、TAO松浦理事のオープン講演の後、「高度道路交通システム (ITS) における情報通信技術」をテーマに11のセッションに分かれ、招待講演3件、口頭発表とポスター発表が合わせて53件あり、参加者数150名を

超え盛況であった。

また、ITS情報通信に関する各種デモンストレーションがCRLならびにTAO施設で催され、質・量とも拡充され好評を博した。

発表論文の中では、日本、韓国にてすでにそれぞれ運用の骨子が固められているDSRC (狭域通信) システムに関して、現実的な運用環境を仮定した諸検討の報告や、アプリケーションの考察等の論文が以上の両国から複数寄せられた。また、ITS情報通信技術とIP制御技術の融合に関する多数の論文があり、専用のセッションが設けられ注目された。

なお、来年のITS情報通信国際ワークショップ (ITST2002) は韓国において開催予定である。



挨拶される羽鳥会長



挨拶される飯田理事長



講演の様子



ポスターセッション



## 第2回ミリ波ワークショップが開催される

第2回ミリ波ワークショップは10月22日(月) YRPホールで行われ、約150名が参加した。米国連邦通信委員会 (FCC) のMike Marcus氏による「米国における周波数戦略及び割り当て状況」と題するチュートリアル講演(日本語)が行われると共に、ミリ波に関する最新の

技術が7件紹介され、熱心に活発な議論が展開された。

締めくくりは総務省移動通信課の山内課長補佐より「準ミリ波移動アクセスの動向」と題して、日本における準ミリ波を含む移動・無線アクセスの動向について講演が行われた。

本ミリ波ワークショップは、

# が開催される

第2回 ITS情報通信国際ワークショップ (ITST2001)  
ITS情報通信に関する一般公開デモンストレーション  
第2回ミリ波ワークショップ

## ITS情報通信に関する一般公開デモンストレーションの開催

10月24日に、ITS情報通信に関する一般公開デモンストレーションが通信総合研究所(CRL)によって行われた。これはCRLが、翌日より開催のITS情報通信国際ワークショップ(ITST2001)において発表予定技術のデモンストレーションを、本ワークショップに先立ち、ワークショップ参加者及び一般の方々に対して公開することを目的として行ったものである。

デモンストレーションの内容は、路側のアンテナより映像等の大容量データを自動車に対して短時間でダウンロードするサービスの実演、前後に置かれた2台の車々間で行われる画像伝送の実演、複数の通信機器の機能

をソフトウェアで実現できる小型車載端末の展示等が行われた。

デモンストレーションの公開時間は午後の3時間であったが、その間に200人近くの見学者が訪れ、スペースの限られた屋内実験室では時として部屋に入れない程盛況であった。また通信分野の技術者のみならず、一般の方々の参加も見られたことが印象的であり、ITS情報通信分野に対する幅広い層からの関心の強さが伺われた。



実験道路での研究説明



実験室内での研究説明

電気学会のミリ波技術とそのインテグレーションと展開調査専門委員会とTopical Symposium on Millimeter Waves (TSMW)委員会が主催し、YRP研究開発協議会が協賛する。毎年10月にYRPで開催するミリ波技術全般に関するワークショップである。

来年の「第3回ミリ波ワークショップ」は2002年の10月8日(火)午後1時からYRPにて開催予定である。

## 第2回ミリ波ワークショップ プログラム

Mr. Mike Marcus (FCC)

【チュートリアル講演】

「米国における周波数戦略および割り当て状況」

栗林 暢彦 氏 (シーメンス)

「欧州ACTSにおけるミリ波プロジェクトの動向」

佐々木金見 氏 (日立国際電気)

「FWA システム」

加藤 明人 氏 (通総研)

「ミリ波車車間システムと電波伝搬」

Prof. Tatsuo Itoh (UCLA)

「UCLAにおけるミリ波技術」

荘司 洋三 氏 (通総研)

「ミリ波自己ヘテロダイナミクスシステムとその応用」

石田 修巳 氏 (三菱電機)

「ミリ波デバイスとその応用」

高橋 和晃 氏 (松下電器)

「マイクロマシニングおよびミリ波回路実装技術とその応用」

山内 智生 氏 (総務省)

「準ミリ波移動アクセスの動向」

# 「YOROSHIKU-ONEGAI-SHIMASU!」

新しくYRPに進出された企業・団体をシリーズで自己紹介していただきます。

## アジアワン・コミュニケーションズ株式会社

YRPベンチャー棟 302 / Tel. 0468-39-5126 · Fax. 0468-39-5127



シンボルマーク

アジアワン・コミュニケーションズ株式会社がYRPに産声を上げて、3ヶ月が経過しました。社名にアジア等と付いているので、何やら怪しげな会社だと言われそうですが、れっきとした株式会社です。

日本のIT市場とアジアIT市場の架け橋となり、横須賀リサーチパークを基点に通信技術を世界に発信しようと考えています。この目標を実現するために、アジアワンコミュニケーションズは以下の4つの事業を実践します。

**移動体通信に関する研究開発**  
中国のIT分野に多くの卒業生を排出している北京郵電大学の全面支援を受け、優秀な大学院卒業生を採用して、日本企業との移動体通信の研究開発を北京とYRPで実践します。目ま

ぐるしく進化するIT技術の中でも通信技術は最も進化の速度が速く、莫大な資金が必要とされている分野です。昨今、大きく変革しようとしている中国市場をターゲットとして、中国人技術者と日本企業の技術との融合により共同研究を通して移動体通信市場に積極的に参画します。

**IT技術者の日本語教育**  
日本国内で多くの外国人IT技術者が働いています。弊社でも今後中国人技術者を中心に増員する計画ですが、外国人技術者が日本語の環境の中で十二分に能力を発揮できるよう外資系企業を対象とした日常会話からIT技術者向け日本語による商談・会議での打合せまでの各レベルとニーズに応じた日本語教育カリキュラムを用意しています。教授方法は講師派遣、教室の開

設など各企業の状況・ニーズに応じたやり方で実践し、IT市場の発展に微力ながら貢献したいと考えています。

**アプリケーション開発**  
開発費用が年々上昇している日本市場。中国で開発した場合の費用は日本の半分以下で済みます。この状況を利用して中国で高品質かつ廉価な開発力をベースにした競争力のある提案を日本企業に行い受託開発の受注を目指します。また、将来的には自社で通信分野に特化した独自のアプリケーションの開発を目指します。

**IT機器の輸入販売**  
最先端技術を駆使した中国製のIT機器を日本に輸入し販売します。既に世界の多くのITメーカーは生産拠点を中国に持ち、製品を市場に投入しています。

中国でもこれら海外メーカーの生産技術を習得した国内メーカーが最近続々と誕生しています。これらの中国製品を輸入し日本市場に紹介します。

2001年秋WTOに正式加盟、2008年オリンピックの開催と世界の表舞台に華々しく登場し、その実力を遺憾無く発揮しようとしている中国の底力には計り知れないものを感じます。この中国の持っている魅力をIT分野に絞り、日本企業との協業を通じて、アジアのIT技術発信に貢献しようと考えています。

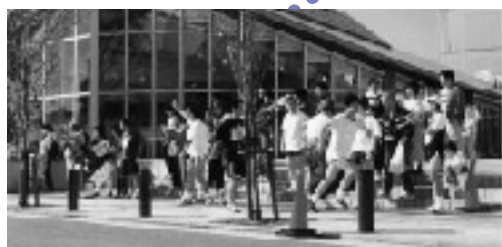
生まれたばかりのベンチャー企業ですが、大きな夢を持った会社です。この夢を実現するため、皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### (株)横須賀テレコムリサーチパークコーナー



## YRP『駅伝大会2001』開催のお知らせ

来る11月17日(土) YRP秋の行事として定着しつつある『YRP駅伝大会2001』を開催します。年々参加チームが増える本大会も今年で3回目。地域にお勤めの方はもちろん、近隣にお住まいの方も参加され、日頃鍛えた健脚を競います。また、駅伝終了後、ローズテリアにて開かれる応援の方も含めての完走パーティーは地域の交流の場としての役割を担っています。



昨年の大会の1コマ

【編集・発行】 横須賀リサーチパーク推進協会  
〒239-0847 横須賀市光の丘 8-3 TEL: 0468-40-4100 FAX: 0468-40-4101  
横須賀リサーチパーク研究開発協議会  
〒239-0847 横須賀市光の丘 3-4 TEL: 0468-47-5008 FAX: 0468-47-5010  
(株)横須賀テレコムリサーチパーク  
〒239-0847 横須賀市光の丘 3-4 TEL: 0468-47-5000 FAX: 0468-47-5010 <http://www.yrp.co.jp>